

試験日程及び試験科目

○日本画領域

試験日	令和5年2月5日(日)	
時間	10:00～14:00	14:00～
試験内容及び方法	デッサン(人体) ※持参すべき試験用具 鉛筆、消しゴム、ナイフ	作品審査及び面接 ■提出すべき作品等について ① 作品:6ヶ月以内に制作した未発表の日本画50号2点 ※提出作品貼付用紙は作品裏右上に貼ること。 ② 写真資料1冊(過去4年以内の作品・デッサンの写真をA4サイズファイル1冊に入れる。) ③ 模写・保存修復の希望者は、自己の研究分野について800字以内のレポートを提出 ※②③とも提出作品貼付用紙は表紙に貼ること。
<p>【提出場所】 日本画4年アトリエ</p> <p>【搬入日及び時間】 令和5年2月4日(土)13:00～16:00までに「■提出すべき作品等について」①～③の提出及び設置を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行うこと。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和5年2月5日(日)面接試験終了後～17:00まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合は、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2月4日(土)の10:00～15:00に必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2) 届先欄に、あて先(愛知県立芸術大学日本画)及び出願者氏名を記入すること。 (3) 梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入すること。 (4) 提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。 (5) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。 		

実技試験

時間	3時間
試験問題	人物をデッサンしなさい。
試験用紙	木炭紙大画用紙

○**油画・版画領域**

試験日	令和5年2月5日（日）
時間	10:00～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接</p> <p>■提出すべき作品等について</p> <p>① 提出作品は2点以内（版画の場合3点以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平面作品の場合、1点のサイズが270×200cm以内 ・ 版画作品の場合、1点のサイズが200×200cm以内 ・ 立体、その他の場合、1点のサイズが270×200×200cm以内（映像作品の場合、映写機・パソコン等ハードウェアと共に、使用説明書を添えて提出すること。 <p>※206×100cmのドアから搬入可能なもの</p> <p>※提出作品貼付用紙を貼る場所は、当日指示します。</p> <p>② ドローイング等のファイル1冊（ファイルに綴じていないものは受け付けない。）</p> <p>③ 写真資料ファイル1冊（過去4年以内の作品及びドローイング等の写真を年次順に整理したもの。）</p> <p>※②③とも提出作品貼付用紙はファイルの表紙に貼ること。</p>
【提出場所】	油画アトリエ
【搬入日及び時間】	令和5年2月4日（土）10:00～15:30までに受付を済まし、16:00までに「■提出すべき作品等について」①～③の提出及び設置を完了すること。
【搬入方法】	受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。
【搬出日及び時間】	令和5年2月5日（日）全試験終了後～16:30まで 令和5年2月6日（月）9:30～12:00まで
【注意事項】	<p>運送業者に搬送を委託する場合</p> <p>(1) 2月4日（土）10:00～14:00に必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。</p> <p>(2) 届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学油画アトリエ）及び出願者氏名を記入すること。</p> <p>(3) 梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入すること。</p> <p>(4) 提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。</p> <p>(5) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前に行っておくこと。</p>

○彫刻領域

試験日	令和5年2月5日(日)
時間	10:00～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接</p> <p>■提出すべき作品等について</p> <p>① 近作1点(各自で責任をもって搬入から搬出を完了できるものとする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品は1トン以内で、3×3×3m以内に展示可能なものとする。 ・映像を用いた作品の再生時間は5分以内とする。再生・投影に必要な機材は各自で準備し、視聴できる状態に設置すること。 <p>② ポートフォリオ(サイズはA4以上とし、オリジナル作品も可)</p>
【提出場所】	彫刻アトリエ
【搬入日及び時間】	令和5年2月4日(土)10:00～15:00までに①と②の提出を完了すること。
【搬入方法】	<p>受験者本人の責任において行うこと。</p> <p>※作品搬入、設置に特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に彫刻領域へ連絡すること。</p> <p>※安全衛生管理上、支障のある作品は受理しません。</p>
【搬出日及び時間】	<p>令和5年2月5日(日)15:00～17:00まで</p> <p>令和5年2月6日(月)9:00～11:00まで</p>
【注意事項】	<p>運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運送業者に委託する旨を、作品到着日までに彫刻領域へ連絡すること。 《 彫刻領域連絡先: sculpture@mail.aichi-fam-u.ac.jp 》 (2) 2月3日(金)の10:00～15:00に彫刻専攻会議室へ必着とすること。 (3) 届先欄に願者氏名を記入すること。また、品名欄に「美術研究科博士前期課程彫刻領域出願作品」と記入すること。 (4) 梱包に【美術研究科博士前期課程彫刻領域出願作品在中】と朱書で記入すること。 (5) 作品の提出及び手続きは、2月4日(土)に本人が梱包を解き、行うこと。 (6) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。

○芸術学領域

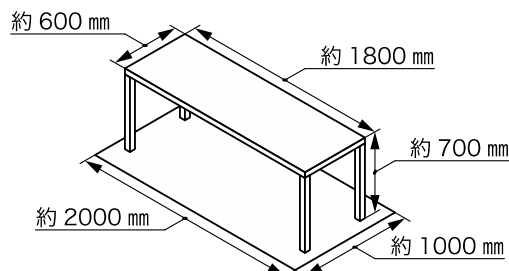
試験日	令和5年2月5日(日)		
時間	10:30~12:00	13:00~14:30	15:00~
試験内容及び方法	外国語試験 外国語(英・独・仏・伊)のなかから2科目を選択受験、あるいは英語と日本古典語(古文・漢文)の2科目を受験する。	論述試験 「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」のなかから2科目(そのうち一つは必ず志望研究分野の科目)を選択受験する。	面接
<p>■提出すべき論文について</p> <p>志望研究分野(「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」)に関する論文(卒業論文等)を提出する。論文には2,000字程度の要旨を添付すること。</p> <p>【提出先】 愛知県立芸術大学入試課</p> <p>【提出日】 令和5年1月10日(火)から13日(金)締切日消印有効</p> <p>【提出方法】 封筒(A4サイズの入る大きさ)に入れ、「美術研究科博士前期課程芸術学提出論文」と朱書きし、簡易書留速達郵便で郵送すること。</p> <p>【注意事項】 令和5年3月本学芸術学専攻卒業見込みの者で、卒業論文が研究科における志望研究分野と一致する者は、論文ならびに要旨を提出しなくてもよい。</p>			

試験問題	<p>外国語試験(昨年受験があった3科目のみ掲載)</p> <p><u>[英語]</u> 次の英文を、全文和訳しなさい。 【出典】 Tony Godfrey, <i>The Story of Contemporary Art</i>, London: Thames & Hudson Ltd, 2020.</p> <p><u>[ドイツ語]</u> 以下のドイツ語の文章をすべて和訳しなさい。 【出典】 Jochen Hörisch: <i>Eine Geschichte der Medien Vom Urknall zum Internet</i>. Frankfurt am Main: Suhrkamp 2004, S. 309. *出題に際し一部を改変しています。</p> <p><u>[日本古典語]</u> 設問一: 次の文章は、兼好法師『徒然草』一三七段の一節である。現代語訳を書きなさい。 設問二: 次の文章は、明時代の文人董其昌による『画禅室随筆』の一節である。書き下し文を書きなさい。</p>
	<p>論述試験(昨年受験があった3科目のみ掲載)</p> <p><u>[現代アート論]</u> 問題: 次の語群のうちから三つを選択し、それぞれ三行程度で説明しなさい。 (一) インスタレーション (二) パフォーマンス・アート (三) パブリック・アート (四) 具体美術協会 (五) ミニマル・アート</p> <p><u>[西洋美術史]</u> 問題: 次の語群のうちから三つを選択し、それぞれ三行程度で説明しなさい。 (一) 印象主義 (二) バロック美術 (三) 北方ルネサンス美術 (四) ギリシャ美術 (五) 新古典主義</p> <p><u>[日本美術史]</u> 問題: 次の図版および語群のうちから三つを選択し、それぞれ三行程度で説明しなさい。 (一) (図版) *1 (二) (図版) *2 (三) 柿右衛門様式 (四) 復古やまと絵 (五) 廃仏毀釈 *1「信貴山縁起絵巻」 *2「俊乗(重源)上人坐像」の図版を掲載</p>

※試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。
(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

○デザイン領域

試験の種別	第1次選考試験
試験内容及び方法	書類審査（出願時に提出する作品資料ファイル及び出願書類） ■提出すべき資料等について ① 作品資料ファイル <ul style="list-style-type: none"> ・ A3 サイズで提出枚数は10枚以内で、表面のみ使用（計10ページまで）。レイアウトや表現形式は自由。 ・ 提出資料各ページの右肩に通し番号（1～10）を明記し、番号順に一冊にまとめ、左肩（左辺）をホチキス等で確実に留めること。（市販のファイル等には入れない） ・ 活動記録や作品の表現は写真、カラーコピー、プリント出力、手描き等自由だが、提出資料は返却しないので、実物オリジナル作品の貼付は避けること。 ・ 提出資料には、タイトル・素材・作品サイズ・制作年などの情報や、必要に応じて補足説明等を付記すること。 ・ 募集要項に添付されている作品貼付用シール（2枚）に必要事項を記入の上、1枚を「自己アピール資料（A3サイズ10枚以内・ホチキス等で留め、一冊にまとめたもの）」の最終ページ裏面右肩に貼付し、もう1枚は郵送書類に同封すること。 ・ すべて本人の活動及び制作物であること。 ② 研究概要と研究計画書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究科入学後2年間の研究概要と研究計画を、A4用紙2枚以内に記入して提出すること。
試験の種別	第2次選考試験（第1次選考試験合格者に限る）
試験日	令和5年2月5日（日）
時間	9:30～
試験内容及び方法	作品審査および面接 ■提出すべき作品等について 作品及び資料ファイル <ul style="list-style-type: none"> ・ 持参する作品（関連資料含む）は、受験者1人で搬入・設置可能なもの。作品数は自由だが、与えられたスペースに納まるようにすること。納まらない作品は審査対象外。 ・ 映像あるいはデジタルデータ作品は、ビデオ・モニター・パソコン等を各自で準備し、上映できる状態に設置すること。電源コンセントは試験会場内にあるが、モバイルバッテリーの使用が望ましい。
【提出場所】	講義棟指定場所
【搬入日及び時間】	令和5年2月4日（土）13:00～16:00までに設置すること。
【搬入方法】	受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。
【搬出日及び時間】	令和5年2月5日（日）全試験終了後～17:00まで
【注意事項】	運送業者に搬送を依頼する場合 (1) 2月4日（土）13:00～16:00の搬入時間内に第1次合否通知書送付時に指定する場所必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2) 届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学デザイン）及び出願者氏名を記入する。 (3) 梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入すること。 (4) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前に行っておくこと。 注：受験室への作品搬入は本人だけで行うこと。
【作品展示】	各受験者が使用できるスペースは下記となります。 床面：（幅）約2000mm×（奥行き）約1000mm 机：（幅）1800mm×（奥行き）600mm×（高さ）700mm <備考> 床面のスペース内に机が用意されています。 机下の床面は使用できません。 作品を展示するためのイーゼルは持ち込み禁止とします。イーゼル（大）を本学から1人2脚まで貸出します。 第1次選考時に提出された作品資料ファイルを試験会場に用意しますので、必要があれば面接時に使用してください。



○陶磁領域

試験日	令和5年2月5日（日）	
時間	10:00～12:00	13:00～16:00
試験内容及び方法	作品審査及び面接 ■提出すべき作品等について 作品3点（セットものは1点とする。）	実技（平面表現） ※持参すべき試験用具 ・平面表現に必要な用具（自由） ・用紙は本学で用意したものを使用する。
【提出場所】 陶磁実習棟（講義室） 【搬入日及び時間】 令和5年2月4日（土）14:00～16:00まで 【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に展示すること。 【搬出日及び時間】 令和5年2月5日（日）試験終了後16:00～16:30までに本人が行うこと。 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 (1) 2月4日（土）の12:00～14:00に必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2) 届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学陶磁）及び出願者氏名を記入する。 (3) 梱包に【美術研究科博士前期課程出願作品在中】と朱書で記入のこと。 (4) 作品の搬入手続き及び展示は、2月4日（土）に本人が梱包を解き、行うこと。 (5) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。		

実技試験

時間	3時間
試験問題	手を自由に表現しなさい。 用紙は以下から選択しなさい。 ・画用紙・木炭紙

入 試 情 報

① 評価基準

領域	試験科目	評価基準
日本画	実技デッサン (人体)	描写力、表現力、空間認識力等をみる。
	作品審査	日本画制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
油画・版画	作品審査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
彫刻	作品審査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。(作品審査にかかる面接も含む。)
芸術学	外国語試験	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
	論述試験	専門領域に関する基礎知識、問題考察力、論理性をみる。
	論文審査	論文の内容と水準をみる。
	面接	適性、意欲をみる。
デザイン	書類審査 (第1次選考)	デザインの研究テーマ、これまでの活動実績を評価する。
	作品審査 (第2次選考)	研究遂行能力と研究テーマの意義をみる。 (作品審査にかかる面接も含む。)
陶磁	実技 (平面表現)	基礎的描写力に加え、画面構成力、造形力を評価する。
	作品審査	陶磁制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)

② 点数配分

領域	実技	作品審査 及び面接	論文審査	外国語 試験	論述試験	面接	合計
日本画	200	800	—	—	—	—	1,000
油画・版画	—	1,000	—	—	—	—	1,000
彫刻	—	1,000	—	—	—	—	1,000
芸術学	—	—	300	300	300	100	1,000
デザイン	下段参照※						
陶磁	300	700	—	—	—	—	1,000

※

領域	第1次選考試験		第2次選考試験	
デザイン	出願書類審査	計	作品審査及び面接	計
	1,000	1,000	1,000	1,000